

議会だより

# にらさき

第177号

2018年8月

女性議会 .....	P2
第2回定例会(6月) .....	P2
委員会活動報告 .....	P6
ここが聞きたい(一般質問) .....	P6



**女性議会 議員の皆さん** (平成30年8月8日 市役所5階 議場にて)

※女性議員の紹介、質問項目は2ページをご覧ください。

# 女性議会

8月8日（水）、本市で2回目となります女性議会が開催されました。女性議員は女性連絡協議会やその他各種団体から推薦された方や大学生の皆さん13名で構成され、議長に浅川節子さん、副議長に小池洋子さんが選出されて議事を進行しました。（各議員の質問内容は下表をご覧ください。）

	議席	議員名(敬称略)	選出団体名	議事の進行
議長	13	浅川 節子	竜岡公民館女性部すみれ会	開会から休憩まで議事進行
副議長	12	小池 洋子	菰崎市赤十字奉仕団	休憩後から閉会まで議事進行
				質問項目
質問議員	1	越石 奈津美	菰崎市愛育会	(1) 若者の雇用と定住について
	2	木下 京子	菰崎市PTA連合会	(1) 中学校での地域学習について (2) 移住対策について
	3	小林 聖子	菰崎市愛育会	(1) 禁煙教育と受動喫煙の防止策について
	4	小倉 いく子	菰崎市男女共同参画推進委員会	(1) ごみ減量アクションプランについて
	5	千野 良子	菰崎市総合計画策定チーム菰崎	(1) 訪問看護の組織化について (2) 高齢者支援について
	6	徳永 綾	子育て支援サークル(ニコカフェ)	(1) 児童発達支援センターについて
— 休 憩 —				
質問議員	7	花輪 祐衣	山梨県立大学 4年	(1) 市民交流センターのテナントについて (2) 女性特有のがん検診について
	8	清水 雅美	菰崎市総合計画策定チーム菰崎	(1) 菰崎市の知名度向上について (2) 菰崎市のおもてなしの土台について
	9	河西 久美	主事会(地区公民館)	(1) イベント情報発信に対する取組について (2) 日本遺産・エコパークの周知について
	10	清水 玲那	山梨学院大学 3年	(1) ゆ〜ぶるにらさきの利用について
	11	窪田 いくみ	菰崎市地域おこし協力隊	(1) 空き家暮らし大作戦について (2) 甘利山レンゲツツジについて

■女性議会の様子は市ホームページで録画配信をします。 ■問合せ：総合政策課政策推進担当（内線355～357）

## 第2回定例会（6月）

平成30年第2回定例会は、6月7日から26日までの20日間の会期で開催しました。今議会では会期中、一般会計及び介護保険特別会計の補正予算、条例の一部改正、人事案件、請願などについて、各常任委員会が所管する案件の審査や議員全員による議場での審議を通じ、最終日に各案件について採決しました。

なお、審議した条例及び採決の結果は、4頁の「平成30年第2回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

### □平成30年度一般会計予算

補正前の予算額 136億2,000万円  
 《補正予算額》 8,091万8千円  
 補正後の予算額 137億91万8千円

### □平成30年度介護保険特別会計予算

補正前の予算額 23億7,650万2千円  
 《補正予算額》 335万1千円  
 補正後の予算額 23億7,985万3千円

### ■一般会計予算の主な歳出

- 県営かんがい排水事業費 …………… 599万2千円
  - ・朝穂堰の白砂隧道の崩落による緊急対策費用の一部負担金
- 観光振興事業費 …………… 154万3千円
  - ・「ピアノストリート - 音楽に会う散歩道 -」イベント開催経費
- 市単独道路整備事業費 …………… 1,390万5千円
  - ・市道(穴山)1号線法面の崩落による地質調査等経費
- 市営住宅改修事業費 …………… 4,738万1千円
  - ・市営円野住宅A棟の外壁等改修工事経費

## 【主な条例の一部改正等】

### ■ 税条例等の一部を改正する条例（たばこ税に係る改正）〔議案第47号〕

地方税法の一部改正に伴い、たばこ税に係る条例の一部が改正されました。紙巻たばこは、平成30年10月、平成32年10月、平成33年10月と3段階で1本当たり1円ずつの値上げを行い、計3円増税となります。また、加熱式たばこについても平成30年10月から5年間かけて段階的に見直されます。

- ・施行期日：公布の日

## 【人事】

### ■ 公平委員会委員の選任について〔議案第51号〕

公平委員会委員 藤原芳洋氏の任期が平成30年7月4日満了となるため、その後任者の選任について市長から議会の同意を求める提案がされ、その再任に同意しました。

藤原 芳洋氏（清哲町）

## 【選挙】

故 高添 秀明議員の逝去に伴い、欠員となっておりました次の議員については、指名推選により当選が決定しました。

### ■ 峡北広域行政事務組合議員の補欠選挙について〔選挙第1号〕

当選 小沢 栄一 議員

### ■ 大内窪外壱字恩賜県有財産保護組合議員の補欠選挙について〔選挙第2号〕

当選 高添 一昭氏（中田町）

## 【表彰の伝達】

本定例会の開会日の冒頭で表彰状、感謝状の伝達及び紹介をしました。

### ■ 全国市議会議長会 表彰状

輿石 賢一 議員（永年にわたり地方自治発展に寄与：10年以上市議会議員であるもの）

西野 賢一 議員（永年にわたり地方自治発展に寄与：10年以上市議会議員であるもの）

### ■ 山梨県市議会議長会 表彰状

輿石 賢一 議員（永年にわたり地方自治発展に寄与：10年以上市議会議員であるもの）

西野 賢一 議員（永年にわたり地方自治発展に寄与：10年以上市議会議員であるもの）

### ■ 全国市議会議長会 感謝状

西野 賢一 議員（全国市議会議長会「国と地方の協議の場等に関する特別委員会」委員としての功績があったもの）

田原 一孝 議長（全国市議会議長会「国と地方の協議の場等に関する特別委員会」委員としての功績があったもの）

### ■ 山梨県市議会議長会 感謝状

西野 賢一 議員（市議会議長の職にあったもので、山梨県市議会議長会会員として功績があったもの）

田原 一孝 議長（市議会副議長の職にあったもので、山梨県市議会議長会会員として功績があったもの）

# 平成30年 第2回定例会議決結果一覧表

## 賛否のあった議案

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 失：失職 (田原一孝議長を除く)

議案番号	件名	金井洋介	木内吉英	小沢栄一	内藤正之	渡辺吉基	浅川裕康	守屋久	宮川文憲	清水康雄	山本雄次	西野賢一	輿石賢一	森本由美子	一木長博	小林恵理子	結果
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	承認

## 全会一致の議案

議案番号	件名	結果
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度一般会計補正予算(第6号))	承認
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号))	承認
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度下水道事業特別会計補正予算(第3号))	承認
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて(税条例の一部を改正する条例)	承認
報告第6号	平成29年度一般会計予算継続費に係る歳出予算繰越額の報告について	了承
報告第7号	平成29年度一般会計予算繰越明許費に係る歳出予算繰越額の報告について	了承
報告第8号	平成29年度一般会計歳出予算に係る事故繰越額の報告について	了承
報告第9号	平成29年度簡易水道特別会計歳出予算に係る事故繰越額の報告について	了承
報告第10号	平成29年度水道事業会計予算継続費に係る歳出予算繰越額の報告について	了承
報告第11号	平成29年度水道事業会計歳出予算に係る建設改良費の繰越額の報告について	了承
議案第43号	平成30年度一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第44号	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第45号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第46号	長期計画審議会条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第47号	税条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第48号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第49号	防災行政無線同報系システムデジタル化整備工事請負契約の締結について	原案可決
議案第50号	再編第2保育園及び藤井公民館整備に伴う建築主体工事請負契約の変更について	原案可決
議案第51号	公平委員会委員の選任について	同意
選挙第1号	峡北広域行政事務組合議員の補欠選挙について	当選
選挙第2号	大内窪外壱字恩賜県有財産保護組合議員の補欠選挙について	当選
請願第30-1号	申請等取扱い窓口における非行政書士行為排除の徹底を求める請願	採択

## 【政務活動費】

政務活動費は地方議会の議員が行う調査研究や、その他の活動を支援するため認められている経費で、議員報酬とは別に支給されます。

政務活動費の交付の対象、額及び交付の方法ならびに当該政務活動費を充てることができる経費の範囲は、条例で定めることとされており、本市議会では「**葦崎市議会政務活動費の交付に関する条例**」の規定により、請求に基づき、会派（所属議員が1人の場合も含む。）の所属議員の数に月額1万円を乗じて得た額が交付されています。

なお、政務活動費の交付を受けた会派が年度の中途に解散、もしくは新たに結成された会派に対する政務活動費は、それぞれの事由に則って条例の規定により、精算、新規（追加）交付しています。

### ■平成29年度 政務活動費会派別収支状況

#### □年度内に所属議員に異動があった会派

(単位：人・円)

会派名	葦真クラブ	葦政クラブ	公明党	計
人数	5	4	1	10
収入				
交付額	690,000	480,000	240,000	1,410,000
支出				
研究研修費		197,851		197,851
調査旅費	95,270		53,590	148,860
資料購入費			22,736	22,736
広報費	531,360			531,360
その他	46,068			46,068
合計	672,698	197,851	76,326	946,875
戻入	17,302	282,149	163,674	463,125
備考	所属議員の増員 H29.7.1 所属議員の減員 H30.3.13	所属議員の増員 H29.4.1	所属議員の減員 H29.11.15	

#### □年度内に所属議員に異動がなかった会派

(単位：人・円)

会派名	協伸クラブ	日本共産党	親和クラブ	計
人数	3	2	1	6
収入				
交付額	360,000	240,000	120,000	720,000
支出				
研究研修費	35,700			35,700
調査旅費	71,848			71,848
資料購入費				0
広報費		236,854		236,854
その他				0
合計	107,548	236,854	0	344,402
戻入	252,452	3,146	120,000	375,598

※交付額に残額が生じた場合は市に戻入（返還）します。

### ■平成29年度 会派調査研究の実施状況

会派名	研修先	研修内容	実施日時
葦真クラブ	長野県伊那市	「伊那市移住・定住促進プログラム」について	平成30年1月18日
	長野県小諸市	「議会広報活動」について	平成30年1月19日
葦政クラブ	長野県塩尻市	「センサーネットワークによる鳥獣被害対策」について	平成29年7月4日
	千葉県柏市	「子どもの貧困対策」について	平成30年2月1日
	千葉県市川市	「いちかわ市民活動サポート制度」について	平成30年2月2日
協伸クラブ	静岡県焼津市	「ドローンを活用した災害対策」について	平成30年2月20日
	静岡県藤枝市	「ICTを活用した買い物支援」について	平成30年2月20日
	公益財団法人 静岡県消防協会	「女性消防団」について	平成30年2月21日
公明党	秋田県藤里町(社会福祉協議会)	「生活困難者（ひきこもり等）の力を地域づくりに活かすシステムづくり」について	平成29年11月20日

※上記、平成29年度会派調査研究については、報告書を市ホームページに掲載しています。

## 総務教育常任委員会

■平成30年6月20日 委員会開催

〔主な審査事項〕

□議案第45号、第46号、第49号及び第50号  
 ・右の4議案は、全員一致で可決すべきものとすることに決しました。

□請願第28―3号、請願第29―1号及び請願第29―4号（継続審査案件）

・右の請願については、委員から引き続き、継続審査することが必要との意見が出され、採決の結果、全員一致で継続審査案件とすることに決しました。

□請願第30―1号 葦崎市の申請書等取扱い窓口における非行政書士行為排除の徹底を求める請願（継続審査案件）

・右の請願については、行政書士以外による不正な書類作成、提出行為に対する窓口においての本人確認の状況について意見が交わされ、挙手多数により採決することに決しました。

■平成30年5月24日

□移住定住支援員との意見交換会

・市では、昨年度、各町に移住定住支援員を設置し、地域の実情に精通した支援員の皆さんと共に本市への定住の促進と地域の活性化に

取り組んでいます。今回は、支援員の皆さん方に活動状況を伺い、各町の空き家の状況など、地域の現状と課題等について意見交換しました。

## 市民生活常任委員会

■平成30年6月21日 委員会開催

〔主な審査事項〕

□議案第47号及び第48号

・右の2議案は、全員一致で可決すべきものとすることに決しました。

## 産業建設常任委員会

■平成30年6月21日 委員会開催

〔主な審査事項〕

□本定例会では委員会付託案件がありませんでした。各課からの行政報告を受け、併せて、質疑応答が行われました。

■平成30年7月17日

□山梨日日新聞社新聞印刷センター、上ノ山・穂坂工業団地第2期造成箇所現地視察

山梨日日新聞社新聞印刷センターにおいて、

最新の輪転機設備や大規模災害に備えた体制についての視察を行いました。センターでは、リサイクルの完全化を目指し、あらゆる資材の再利用に努めていました。引き続き、地域に密着した情報発信拠点として、事業の発展を期待しています。続けて、上ノ山・穂坂工業団地第2期造成事業の進捗状況を視察しました。新たな企業誘致に向け、本年10月末の完成が待たれるものであります。



視察状況

## 議員定数等調査特別委員会

■平成30年6月22日 委員会開催

今回、初めて実施した市民との合同による研修会（5月20日開催）についての反省や当日行ったアンケートの集計結果について活発な意見が交わされました。委員会は7回目を迎え、現在様々な視点から定数についての研究を続けています。

## 一般質問

10人の議員が市政を問う  
 10人が聞きたい

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。  
 詳細な内容は、  
 〓 葦崎市ホームページ ↓ 市議会 ↓ 会議録検索 〓 で  
 ご覧いただけます。録画中継も配信しています。



宮川 文憲 議員  
[誼真クラブ]

### 市長の政治姿勢について

**質問** 内藤市長は、平成26年11月、市民からの絶大な支持と期待を背負い、第16代葦崎市長に就任され、各種事業に優先順位を付け着実に成果を上げられました。今年の秋に任期満了を迎えるにあたり、引き続き内藤市長に市政の舵取りを期待する市民の声は日増しに高まっており、次期市長選へ向けての決意のほどを伺います。

**答** 市長 第7次総合計画の「すべての人が輝き幸せを創造するふるさとにらさき」の実現に向けて、引き続き全身全霊をかけて市政を担うべく、来る次期市長選に立候補することを今ここに表明し、議員各位を始め、市民の皆さまのご理解と絶大な御支援を賜りますようお願い申し上げます。私の決意表明とさせていただきます。

### その他質問

- ◆防災行政無線デジタル化推進事業について
- ◆学校給食費の公会計化について

できます。

### 土砂災害対策について

**質問** 大雨など引き金となる現象がない中で、突然土砂が崩れる被害が各地で発生しており、前兆がない中でどう身を守るのか不安の声が上がっております。特別警戒区域の住民にいつ何が起きてもお大丈夫な準備と自助の意識を高める方策が必要と思うが見解をお聞かせします。

**答** 市長 本市の特別警戒区域は、急傾斜地箇所が61か所、土石流箇所が47か所であり、内58か所において砂防工事が実施され、現在、5か所が国及び県により施工中であり、今後も事業を推進していくと伺っております。また、本年度ハザードマップの見直しと併せて特別警戒区域の住人に災害に対する備え、防災・

減災意識の普及啓発に努めて参ります。

### 朝穂堰の改修について

**質問** 去る3月13日、歴史的用水路である朝穂堰の三之蔵地内の白砂隧道が崩壊し、緊急対策として、給水ポンプで迂回し通水していますが「5月から10月」までの維持管理経費と負担割合また完全復旧に向けての見通しについてお聞かせします。



朝穂堰 給水ポンプ迂回通水状況

**答** 市長 緊急対策工事の経費は、1,400万円が負担割合は、本市が42.8%の599万2千円、北杜市が42.0%の588万円、土地改良区が15.2%の212万8千円です。今後につきましては、本年度、県営事業により、調査・設計及び、復旧対策工事を実施する予定と伺っています。



浅川 裕康 議員  
[誼真クラブ]

### 人口減少対策について

**質問** 本市の人口が本年度、3万人を割るところまで来ており、本市人口ビジョンの予測よりも加速度的に人口減少が進んでおります。本市人口ビジョンにおける人口推移予測の評価並びに基本方針に対する評価、また、今後の人口減少対策の展望について伺います。

**答** 市長 人口推移の予測につきましては、本市が平成27年度に策定した時点での予測以上に人口減少が進んでいるものと捉えております。また、基本方針につきましては、人口減少を抑制するための重点的な目標として掲げたところでありますので、今後も継続して取り組んでまいりたいと考えております。

今後の展望につきましては、人口減少社会にあっても持続可能なまちづくりに向け、引き続き本市が持つ自然など多様な地域資源を生かし、「チーム葦崎」で各種施策を積極的に展開してまいります。

くりに向け、引き続き本市が持つ自然など多様な地域資源を生かし、「チーム葦崎」で各種施策を積極的に展開してまいります。

**質問** 本市人口ビジョンと同時期に、葦崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定されました。人口ビジョン、創生総合戦略、共に見直しを求められることとなります。今後の方向性について伺います。

**答** 総合政策課長 現在予測を上回る人口減少に対応すべく、まずは今年度の後半から予定しております各種事業並びに指標等の検証を十分に行ってまいりたいと考えております。

**本市におけるAI（人工知能）導入への見解について**  
**質問** AI、人工知能の活用が民間企業に広がる中、地方自治体でも本格導入に向けての動きが活発化してきております。本市におけるAIに対する所見と今後の導入に対する所見をお伺いします。

**答** 市長 人工知能を活用した行政サービスにつきましては、実証実験を行った自治体による検証結果から、作業効率が高まるなど、その有効性も報告されております。今後の導入につきましては、期待の高い分野でありますので、本市においてどのような業務に導入可能なかなど最新の技術動向を踏まえ、調査研究を進めてまいります。

**質問** すべからくAIを導入するというのが正しいとは思いません。その判断、見きわめが可能となる人材の育成が重要と考えています。ご所見をお伺いします。

**答** 総合政策課長 今後、職員の新入も見込めない中、業務は年々複雑多様化の傾向にあります。政府方針におきましても、AIに精通した人材の育成、またAIに代替されない創造性を持った人材の育成が明記されており、近い将来におけるAIの導入は確実であると感じております。AIと共存・共栄できるさらなる人材の育成、また組織体制の構築に努めなければならぬと考えております。

今後の展望につきましては、人口減少社会にあっても持続可能なまちづくりに向け、引き続き本市が持つ自然など多様な地域資源を生かし、「チーム葦崎」で各種施策を積極的に展開してまいります。



内藤 正之 議員  
[葦真クラブ]

その他質問

◆大人が集える場所づくりについて

荻原市長 (株)ティー ジーケーの地元採用は、平成32年度までに150名程度の募集を計画し

市長の任期最終年における自身の評価について

質問 就任後、様々な問題に真摯に向き合い、取り組んでこられました。現時点での自身の評価をお聞かせ下さい。

荻原市長 評価を自身で行うことは大変難しいことですが、34の公約全てを実施に移すとともに、重要課題に対しても、「チーム葦崎」で取り組むことができたとの手ごたえを感じております。しかしながら、これに満足せず、全ての市民がそれぞれのステージで活躍できる社会の構築に向け、挑み続けていかなければならないと実感しているところであります。

上ノ山・穂坂地区工業団地の状況について

質問 地元採用の状況について伺います。

間の実践の中で年間計画や1時間ごとの指導案を作成しており、他市からの転任者等でも指導が行えるようにしております。

葦崎西保育園民営化後の検証について

質問 現時点での評価について伺います。

荻原市長 保護者や園児との関わりを深める親子遠足の実施、ホームセンターでのお買い物体験、給食のバイキング方式など、民間移管前に保護者、事業者、市の三者で協議した保育内容等に基づき、着実な運営がなされていると考えております。

住まいるマイホームについて

質問 申請状況と周知方法について伺います。

荻原市長 助成金の申請件数は14件で、その内12件については市外からの転入者であります。周知の方法は、昨年度、広報及びホームページへの掲載を行い、本年度は新たにパンフレットによる地区回覧も行ったところがあります。また、市内外の建築業者への説明により幅広い周知を考えております。



小沢 栄一 議員  
[葦政クラブ]

交通安全対策について

質問 (1)落下の危険性がある岩の調査について (2)市道(穴山)5号線について (3)県道613号線甘利山公園線について (4)国道141号線中田町小田川地内拡幅改良について伺います。

市長の政治姿勢について

質問 葦崎市長選挙に向けての決意について伺います。

荻原市長 引き続き、様々な行政課題に迅速かつ積極果敢に挑戦し続けるため、豊富で個性あふれる市民力を結集した「チーム葦崎」によって活力あるまちづくりをさらに推進してまいります。

交通安全対策について

また、現在策定中の第7次総合計画「すべての人が輝き幸せを創造するふるさとにらさき」を実現させ、全ての市民の皆様が「このまちに住んで本当に良かった」と愛着と誇りを持っていただけるよう、全力を傾注してまいります。

議員各位をはじめ、市民の皆様のご理解と絶大なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

荻原教育長 (1)地域文化の振興につつましても、

高齢者の外出支援策について

質問 新たな支援策について伺います。

荻原市長 県において、高齢者をはじめ交通弱者の移動手段を確保するためのガイドラインを策定し、市町村に示す方針と伺っております。

本市におきましては、県のガイドラインをはじめ、NPO法人や地域のボランティア団体などによる先進自治体の取組みを参考にしながら、地域に即した支援策について研究してまいります。





金井 洋介 議員  
[葦政クラブ]

### 防災行政無線のデジタル化について

**質問** 低価格入札の要件と工事への影響を伺います。

**答** 市長 低価格入札について、落札業者による主要機器の自社製造とシステムの構築に熟知していることが主な要因であり、品質や性能を落とすことなく、仕様書に基づいた施工が可能との確約を得たものであります。

### 結婚・出産・子育てについて

**質問** 結婚を望んでいるが、恋愛に消極的な方を対象とした取組みについて伺います。

**答** 市長 これまでの婚活・恋愛イベントに加え、結婚に関心を持つ男性を対象とした婚活事前セミナーを新たに開催します。

プロジェクトの実施状況について伺います。

**答** 市長 総合戦略の施策として位置づけましたが、企業等への働きかけが困難な状況もあり、見直しの際に、取組み可能な方法を検討します。

**質問** 父親同士のネットワークの構築についての考えを伺います。

**答** 市長 父親同士のネットワークの構築は、子どもを通じ他の父親と交流することで、子育てに関心を持ち、悩みや意見を共有し、家庭環境の向上や地域との繋がりを育むものと考えています。

**質問** 検証や施策見直しに役立てるため、「パパの会」の活動を参考にするなど父親たちの子育ての実情と課題を把握することが必要では。今後の父親の子育てに関する取組みについて伺います。

**答** 総合政策課長 父親を対象とした事業は、子育て支援に係る大変重要な施策です。現在、新たなプランや構想はありませんが、総合計画策定の各チームの提案内容を検討し、事業の企画、立案に努めます。

### 中小企業の補助金活用への取り組みについて

**質問** 対象となる企業への情報提供の手法を伺います。

**答** 市長 商工会や市内工業会と連携して情報を共有化し、制度の周知に努めています。今後ホームページや広報等においても情報提供を行います。

### ミックス古紙の回収促進について

**質問** ミックス古紙の回収によりゴミ焼却費の経費削減が可能となります。さらなる周知を行い、回収促進について伺います。

**答** 市長 ミックス古紙の回収は、ごみの減量化に大変有効な手段です。広報やホームページの活用と、年3回発行の環境広報紙の中で重点的に周知、啓発を図ります。

**質問** 指定ごみ袋にミックス古紙の回収内容を掲載することについて伺います。

**答** 市民生活課長 従来同様、ごみの減量化に向けた記載内容を予定しておりますが、議員の提案を含め、具体的に分かりやすい内容にしたいと考えています。



木内 吉英 議員  
[協伸クラブ]

### 防災・減災力の強化について

**質問** 消防団員のなり手不足が深刻化しており、解消するための活性化対策として、消防団協力事業所表示制度・消防団活動協力員制度・消防団サポーター事業・消防団員加入促進キャンペーンなどを行って、団員確保に取り組んでいるところでしょうか、それぞれの事業所数や人数等についてお伺いします。

**答** 市長 消防団協力事業所表示制度の登録事業所数は7事業所、消防団活動協力員は119名、消防団サポーター事業の協力店舗は60店舗であり、消防団員加入促進キャンペーンにつきましては、講演会の開催やヴァンフォーレ甲府の試合会場でのPR活動等が行われております。

**質問** 他の自治体では女性消防団員が増えてきて

### その他質問

- ◆中心市街地活性化について
- ◆子育て支援について

おりますが、本市には現在おりません。女性の消防団への入団に対する考えをお伺いします。

**答** 市長 女性の消防団への入団については、正副団長を交えて、女性団員としての活動のあり方や役割などを検討しているところであります。

**質問** 災害現場の状況を速やかに把握するため、人が容易に近づくことが出来ない場所での状況把握のためのドローンの導入や不整地でも通行可能なオフロードバイクの利活用が有効と考えます。県消防学校では、オフロードバイクを総務省消防庁から借り受け、消防団員を対象に運転研修を行っているが、その後有効と判断すれば市町村が購入するものがありますが、導入に対する考えをお伺いします。

**答** 市長 ドローンの導入については、本年3月に、学校法人日本航空学

園と「災害時における被害調査の支援に関する協定」を締結したところがありますので、当面、本市での導入は考えておりません。また、オフロードバイクの導入については、今後、研究してまいります。

### 葦崎警察署の移転について

**質問** 2020年度末に甲斐市に新庁舎が完成予定となっており、3年を切った状況です。昨年12月定例会でも質問しましたが、その後、葦崎警察署跡地の利活用について進展はあったのか、市からの具体的な働きかけについてお伺いします。

**答** 市長 葦崎警察署との間で意見交換を重ねるほか、県警本部長に再度機能の拡充と体制強化についての要請を行いました。県警本部及び葦崎警察署で規模の検討や候補地の選定を進めているところですが、相互連携のもと、一日も早い決定に結びつくよう努めてまいります。また、葦崎警察署跡地の利活用については、引き続き、有効活用のあり方を検討してまいります。



小林恵理子 議員  
〔日本共産党〕

その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆市内保育所の年度途中の受け入れについて
- ◆市関係団体の政治的中立性について
- ◆市職員の手配での朝礼について

子どもの遊び場の充実について

**質問** 子育て世代の市民から、戸外での遊び場についての様々な要望が出ています。具体的な内容は、釜無川河川敷公園水場で水遊びできるようにしてほしい。車ではなく子どもが自分で歩いて行ける距離の公園設置。また、小学校のグラウンドの解放。さらに、中央公園の芝生広場の開放日を月に1度もしくは、数ヶ月に1度でもほしい等々です。要望に応じて、戸外での遊び場を充実していくべきと考えますが、市の見解を求めます。

**回答** 河川公園の利用は、安全面や衛生面等を考え、イベント時に合わせた利用としています。市内には公園が16カ所あり、既存施設を利用していたり、維持管理、情報発信に努めています。

教育長

中央公園芝生広場は現在、ヴァンフォーレ甲府に練習場として優先的に提供していますが、一般開放について今後、調整していきます。なお、小学校のグラウンドは、危機管理上、一般開放は考えていません。

**質問** 河川公園水場で、活動を希望する団体があれば、利用は可能か。

**回答** 安全上、衛生上に問題がなければ利用も可能なので前向きに検討していきます。

会計年度任用職員制度について

**質問** 2020年4月から自治体の非正規職員に会計年度任用職員制度が導入されるため、各自治体で準備が進められています。任用期間が1会計年度を超えない範囲と明確化されることで、更新されない根拠にならないのか、フルタイムとパートタイムが規定

され処遇で格差があるが、パートタイム職員とされ、条件が切り下げられないのか、給与水準は職務経験など考慮されるのか、同一労働、同一賃金の考えで決めるのか、期末手当や退職金などの支給はどう規定するかなど、多くの心配があります。今回、非常勤職員の処遇改善を図っていくという基本姿勢で臨むべきと考えますが、市の見解を求めます。

トタイムが規定され処遇で格差があるが、パートタイム職員とされ、条件が切り下げられないのか、給与水準は職務経験など考慮されるのか、同一労働、同一賃金の考えで決めるのか、期末手当や退職金などの支給はどう規定するかなど、多くの心配があります。今回、非常勤職員の処遇改善を図っていくという基本姿勢で臨むべきと考えますが、市の見解を求めます。

**質問** 非常勤職員等の処遇は、現在、国の事務処理マニュアルを参考に、検討しています。

**回答** 市で移行する非正規職員数と主な職種は、

**回答** 本年4月1日現在で非常勤職員88名、臨時職員92名です。うち保育士が16名、看護師が43名です。

**質問** 問題点を考え進めべき。見解を求めます。  
**回答** 一部改正の趣旨にのっとり適正な任用勤務条件を確保するという姿勢で臨んでいきます。

子どもの貧困対策について

**質問** 17歳以下の子どもの貧困率は2015年の調査で13.9%、7人に1人で、ひとり親家庭の相対的貧困率は50.8%と2人に1人が子どもの貧困にあたります。昨年7月に「荊崎市子どもの生活アンケート」が実施され、貧困世帯に満たない世帯に対する今後の取り組みが掲載されておりますが、本アンケートが本市の「子どもの貧困対策」についての計画になるのか。また、子どもを取り巻く現状と課題、目標を明確にしている、中央市の「子どもの貧困対策推進計画」から学ぶことは重要であると考えますが、中央市と意見交換等を行う考えがあるかお聞きします。

**回答** 山梨日日新聞は憲法記念日に合わせて県内首長28人にアンケートを行いました。内藤市長は、

渡辺 吉基 議員  
〔日本共産党〕

その他質問

- ◆生活保護について
- ◆小中学校給食費の無料化について

の計画ではありませんが、計画策定に向けて検討しております。また中央市との意見交換につきましては、必要に応じて行ってまいります。

**質問** 学習支援の対象者は、84人いますが受講している生徒は17人です。対象者が84人もいるのであれば、もう1か所学習支援塾を開くことが大切だと考えます。

**回答** 福祉課長 計画の策定は検討段階でありますので、それと併せて検討してまいります。学習支援はもっと早く必要かどうかというところになれば、そちらも踏まえたくうえで検討してまいります。

憲法第9条の改憲問題について

**質問** 山梨日日新聞は憲法記念日に合わせて県内首長28人にアンケートを行いました。内藤市長は、

改憲の是非については必要、自衛隊明記については必要、自民党の改憲4項目については評価できると回答しています。しかし、3年前の同様のアンケートで憲法改正については「どちらでもない」と回答し、その理由は、国で議論されていることで、地方の自治体の首長が考えるべきことではない」と回答されています。2014年11月に進歩と革新をめざす荊崎の会の公開質問書で「日本国憲法9条は憲法前文とともに平和主義を規定しており第2次世界大戦での多くの犠牲と反省の上に立つて公布されたものと承知している」と回答されました。市長の見解にどのような変化があったのか、憲法9条に自衛隊を書き込むことは、日本の平和原則を大きく変質させるものと考えますが、市長の見解を求めます。

**回答** 今回のアンケート調査では、国際情勢や改憲に関する民意の変化を鑑み回答したところであり、わが国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を守る自衛隊を憲法で明記することに一定の評価をするものです。



清水 康雄 議員  
[親和クラブ]

その他質問

- ◆旧旭保育園の利活用について
- ◆県道甘利山公園線待避所設置について
- ◆下水道計画について

通学路への信号機設置について

**質問** 主要地方道葦崎・南アルプス・中央線(旭バイパス)は、甘利小学校児童の通学路になっております。しかし、本路線は朝の通勤時間帯においては、相当の車両通行量となり、山口地区並びに鋳物師屋地区の児童は、こうした中、信号機のないところを、横断しなければならず、非常に危険な状況にあります。

このため、昨年8月両地区の関係者により、朝の通勤ラッシュ時に、5日間の交通量調査を実施し、その結果をもとに、関係者連名で市に要望書を提出したところ、12月に県の公安委員会、葦崎警察署、県土整備部、市総務課、山口及び鋳物師屋両地区関係者立ち合いのもと、現地調査が行われ、危険性が高いことは認識されました。県の公

安委員会においては、緊急措置として危険を回避するための路面標示の設置が必要と判断し、道路管理者の県土整備部において、注意を喚起するための路面標示が設置されました。

しかし、今もこの危険な箇所を児童が横断し、通学しており、保護者の心配はぬぐいられないものであります。児童が安心して通学できるように、一日も早い信号機の設置が望まれておりますが、市の所見を伺います。

**答** 市長 当該箇所への信号機の設置につきましては、必要性を十分認識しており、本年5月に再度、葦崎警察署に要望を行ったところであります。今後、できるだけ早期の設置が図られるよう努めてまいります。

鳥獣害対策について

**質問** 本市の鳥獣による被害は一向に減少しておりません。その大きな要因は、災害の危険があり、河川など防護柵が設置できない箇所があるからであります。他の自治体ではこれを解消するために既に導入している獣の動きを感知するセンサーを活用し、威嚇音等により、獣が防護柵に近づかないようにする対策を講じております。この対策が、相当な効果を上げていると聞き及んでおります。

本市においても、効果を上げている対策を参考にすると、有効な方策が必要と思うが、市の考えを伺います。

**答** 市長 昨年度、新たな対策として、旭町上條中割地区内で、GPSによるサルの子息調査の結果をもとに、罠いんを設け、一定の成果を得たところであります。

引き続き、地元猟友会と連携した追い払い、捕獲・駆除や電気柵による防除を平行して行うとともに、先進地の事例を参考にしながら、効率かつ効果的な方策を調査・研究してまいります。



森本由美子 議員  
[公明党]

その他質問

- ◆中小企業の設備投資を促す制度について
- ◆中小河川の流木対策について

ヘルプマークの更なる周知と理解促進について

**質問** ヘルプカードには、内部障がい者や聴覚障がい者など、目には見えないう障がいをお持ちの方が、支援してほしい内容が書いてあり、周囲の理解や手助けを求めるために役立つカードであります。周知方法と対象者、配布数について伺います。

**答** 市長 その目的などを広報等に掲載し、各種団体にも周知をお願いしたところであります。なお、対象者は支援が必要な方としており、現時点での配付数は1,143枚であります。

切れ目のない発達障がい者の支援について

**質問** 2016年5月に「改正発達障害者支援法」が成立し、乳幼児期から高齢期まで切れ目のない

支援をするため、教育、福祉、医療、労働などの緊密な連携や個別の支援計画、指導計画の作成などが明記されました。本市では、保育園、幼稚園の巡回訪問で子どもたちの支援につなげるための早期発見に努力をしていますが、保育園、幼稚園からの小学校就学、小学校から中学校への入学、中学校から卒業後の進路先への連携について伺います。

**答** 市長 巡回訪問では、訪問時に園からの情報を共有した上で、個別の効果的な支援の方法を協議し、早期に適切な支援を行うっております。また、就学から卒業後の進路先との連携については、教育委員会を通して学校や進路先との情報共有を図っております。なお、周囲の理解を深める啓発活動として、従来の活動に加え、本年度、保育園の保護者を対象に学習会を

開催してまいります。  
**質問** 巡回訪問の実施内容について伺います。  
**答** 健康づくり課長 福祉課子育て支援担当、家庭児童相談員、認定心理士、障がい福祉担当の4人、教育委員会からは指導主事、教育相談員の2人、以上8名により、6月及び12月の2回、1園を半日単位として相談、訪問に伺っております。  
**質問** 発達支援センターとの連携について伺います。  
**答** 福祉課長 県立あけぼの医療福祉センターの児童発達支援センターにおきまして、地域療育等支援事業として障がいのある子や発達の気になる子へのかかわり方などを、保育所などを訪問し助言等をいただいております。  
**質問** 支援が必要な子の個別支援計画の情報を適正に管理して幼児期から就労期までつなげていく発達支援システムの構築が必要であると考えますが、見解をお聞かせください。  
**答** 福祉課長 個別の支援計画の作成やデータベース化、それに対する個人情報取り扱いなど課題はありますので、調査研究してまいります。

## ■ 議員定数等調査特別委員会アンケートのご協力のお礼 ならびに集計結果について

5月より皆様にご協力をお願いしておりましたアンケートについて、集計結果がまとまりましたので、報告させていただきます。アンケートに際しましては、多くの方々から貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。皆様からのご意見・ご要望を参考に慎重に審査を重ね、二元代表制の一翼を担う責任を再認識し、より効率的で実効性が高い議会運営のため、委員会として更に検討を進めていきます。

### ● アンケート集計結果の一部

項目	調査期間	対象者	回答数
市民1,000人無作為抽出アンケート	5/21～6/29	市内在住の18歳以上の男女1,000人を無作為抽出	329名 (回収率32.9%)
Web(インターネット)によるアンケート	5/21～6/29	市内の男女(市外でも回答可)	39名
5/20市民との合同研修会時アンケート	5/20	5/20研修会参加者(80名程度)	58名

なお、詳細につきましては、市ホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。

## ■ 夏季研修(8月3日)

8月3日、東京都有楽町にあるNPOふるさと回帰支援センターでやまなし暮らし支援センター移住専門相談員として、日々相談受付をされている倉田貴根氏を講師に迎え、移住から考える葦崎の課題について研修しました。倉田氏から、より具体的な地域の情報が求められていることや移住の実現には移住希望者目線での情報発信で差別化が必要であること、市の特色を活かした提案が効果的なことなど、移住相談窓口現場の生の声を伺い、大変有意義な研修となりました。人口減少対策に向け、今後の議員活動に活かしてまいります。



## 編集後記

7月に発生した豪雨は西日本に大きな被害をもたらすと共に、多くの尊い人命を奪うなど最悪な爪痕を残しました。亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、ご遺族に対しお悔やみ申し上げます。

本市では、平成24年に「減災力の強いまちづくり宣言」をしておりますが、何時襲ってくるかわからない自然災害に対し、どう対応すれば良いのか、誰もが一抹の不安を抱える中、講習などを通じ、地域全体で防災・減災の知識力を身に付けておかないといけないと思っております。

さて、先に開催いたしました議会報告会には、多くの皆様にご参加頂き、厚く御礼申し上げます。まだまだ当分暑い日が続くと思いますが、市民の皆様にはくれぐれもご自愛のうえ、お過ごし下さいませようお祈り申し上げます。(山本雄次)

議長 田原 一孝  
副議長 守屋 久  
委員 山本 雄次  
委員 清水 康雄  
委員 宮川 文憲  
委員 小沢 栄一

- 9月 6日 開会  
諸報告  
市長所信表明
- 19日 代表質問・一般質問
- 20日 一般質問
- 21日 議案審議  
総務教育常任委員会(午後)
- 25日 市民生活常任委員会(午前)  
産業建設常任委員会(午後)
- 26日 特別委員会(午前)
- 10月 1日 議案審議  
委員会報告  
閉会

- 上記日程は予定です。定例会前の議会運営委員会において正式に決定されます。  
※議会だより発行前に開会することもあるので、市ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。
- 委員会の傍聴を希望する方は、開催日の2日前まで(休日を除く。)に申込手続きが必要です。
- 本会議は、パソコンやスマートフォン、タブレットで議会ライブ中継をご視聴いただけます。

# 9月定例会日程〈予定〉